



## 実りの秋に向けて

神南小副校長 相場 雅子

9月を過ぎてもまだ気温が高い日が続いていますが、朝夕の風は少しずつ涼しくなり、秋を感じる機会も多くなっているのではないのでしょうか。秋は物事に集中して取り組むことに適した時期で、芸術の秋、スポーツの秋、読書の秋など、様々な秋の取組があります。

皆様の学校でも、秋にはたくさんの行事が予定されていることと思います。本番に向けて、友達と関わり合いながら練習を重ねたり、普段とは違う緊張感を味わったりと、体験を通して子供たちが大きく成長する姿が目に見えます。通級にいらした際に、お子様の頑張りを教えていただけることを楽しみにしています。

いよいよ後期が始まります。子供たちが前期のきこえとことばの教室で学んだことを生かしながら、さらにステップアップしていけるように指導してまいります。

実り多き秋になるように、担任一同と共にいつも応援しています。何かお困りのことがございましたら、いつでもご相談ください。寒暖差が大きい季節ですが、子供たちが笑顔で元気に神南小に登校することをお待ちしております。

### 10・11月の予定



- 10月1日(火) 都民の日(学校休業日)
- 8日(火) 前期通級終  
都難言協ブロック研究会
- 9日(水) 前期終業式
- 10日(木) 秋季休業日
- 11日(金) 秋季休業日
- 15日(火) 後期始業式  
都難言協専門研究会
- 16日(水) 後期通級開始  
新入級児在籍学級訪問始  
(~11月末)
- 18日(金) 就学支援委員会

\*午後の指導が変更になる場合があります



- 11月5日(火) 都難言協ブロック研究会
- 9日(土) 神南小学校運動会
- 11日(月) 振替休業日
- 19日(火) 個別指導計画確認日  
(校内通級児)
- ※詳しくは担当からお知らせします
- 20日(水) 就学時健康診断(午後)
- 26日(火) 都難言協通級指導学級研究会
- 28日(木) 専門家診断

\*午前の指導が変更になる場合があります

※予定は変更になる場合があります。

10月22日は「国際吃音啓発の日」です。

「国際吃音啓発の日」は、吃音の啓発を目的として、国際吃音者連盟（ISA）と国際流暢性学会によって1998年に制定されました。この日に合わせて、日本を含めた世界各地で、吃音啓発のための様々な取り組みが行われています。

## 吃音とは・・・

吃音にはいろいろな種類があります。ことばの教室に通級しているのは、「発達性吃音」と呼ばれる吃音の児童が多いです。次の3つの症状は「(吃音の)中核症状」といって、幼児の吃音は①の症状から始まり、②、③と進んでいくことが多いと言われています。

①話し始めの音を繰り返す(例:ぼ、ぼ、ぼく・・・)

②話し始めの音を引き伸ばす(例:ぼーく)

③話し始めの音がつまって出てこない

ことばが出にくい時に目をつぶったり、足をふみならしたりするなど体の一部が動くようになる場合があります。「随伴(ずいはん)症状」と呼ばれています。

## 家庭や学校では、どのように接するとよいでしょうか・・・

一番大切なことは「本人との対話」です。

どのように接してほしいか、吃音症状が出ているとき、どのように対応してほしいかは児童によって違います。ぜひ、本人に尋ねてみてください。吃音が生じていても、本人が安心して話せる環境をつくるのが、最も大切です。 学校生活の中で安心して話せた、うれしかったこととして、通級児からは以下のような話を聞きました。

九九の検定のときに、時間制限をしないで、全部言い終わるまで先生が待ってくれた。安心して検定が受けられた。

国語の音読の指名の仕方について(順番か、ランダムか)自分の希望を先生が聞いてくれた。順番だとドキドキする時間が長いのが嫌だから、聞いてくれて嬉しかった。(順番の方がよいという児童もいます。)



学芸会のセリフを言うときに、吃音が出そうだったけれど、隣の友達が小さい声で一緒に言ってくれたから、言いやすかった。担任の先生が友達に言っておいてくれてよかった。